

# やまぐち維新プランの進行管理について（政策評価）

## 1 概要

### (1) 目的

#### ① 説明責任の徹底

維新プランに位置付けたプロジェクトや重点施策等の進捗状況をわかりやすく示すことにより、県民に対する説明責任を徹底する。

#### ② 県民の視点に立った行政サービスの向上

事業の改善、改善方向に基づいた実施、さらなる評価という一連の取組を繰り返すことにより、県民の視点に立った行政サービスの向上を図る。

#### ③ 「活力みなぎる山口県」に向けた施策推進

維新プランに掲げるプロジェクトの進捗状況の把握、重点施策の点検等を行うことにより、「活力みなぎる山口県」の実現に向けた施策の着実な推進を図る。

### (2) 手法

#### ① 重点施策や成果指標の達成状況、県政世論調査結果の整理

維新プランの重点施策及び成果指標の進捗状況、県政世論調査による施策実感度の結果等を整理する。

#### ② 課題（改善項目）の抽出

①を踏まえ、取組の成果と今後の課題を整理する。

#### ③ 改善の具現化

②を踏まえ、令和2年度当初予算編成等において、今後に向けた改善の具現化を図る。

### 《参考》「総合戦略」の進行管理

維新プランに掲げた取組のうち地方創生に資する施策を戦略化した「山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、この政策評価により、一体的に進行管理を行う。

## 2 結果の概要

概ね計画どおり進んでいる。<sup>※</sup>（計画以上の進捗の割合：78.9%（71指標／90指標））

※ 計画以上の進捗：「目標を達成」、「計画を上回る」、「ほぼ計画どおり」の合計

#### ◇成果指標の進捗状況（全92指標）

目標を達成	0 (0%)	計画を上回る	26 (28.9%)	ほぼ計画どおり	45 (50.0%)
計画を下回る	7 (7.8%)	計画から大幅に遅れ	12 (13.3%)	未公表	2 (-)

※未公表：現時点でH30年度の数値が未公表のもの

⇒ プロジェクト毎の評価結果は次ページ以降に掲載

# 1 時代を勝ち抜く産業力強化 プロジェクト

## 概要

瀬戸内沿岸の企業群を中心とした基幹産業が、国際競争や産業の構造的変革を勝ち抜いていくために必要な基盤整備の強化や、企業誘致を推進し本県の産業力を強化

## 重点施策

- 1 強みを伸ばす産業基盤の整備
- 2 力を伸ばす企業誘致の推進

### (1) 成果指標の状況・県民実感度調査の結果

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標		
	★★★★★ (目標を達成)				
★★★★ (計画を上回る)					
★★★ (ほぼ計画どおり)		3	石炭共同輸送の実施回数、国道・県道の整備完了延長 等		
★★ (計画を下回る)					
★ (計画から大幅に遅れ)		1	緩和する主要渋滞箇所数		
県民実感度調査 (%)	調査項目		そう思う	どちらかといえばそう思う	そう思わない
	港湾や幹線道路、工業用水などの産業基盤の整備が進んでいる		44.8 (52.8)	38.5 (31.8)	13.0 (12.3)
	新たな工場・事業所などの進出や、企業の設備の増設などが進んでいる		22.8 (19.5)	43.2 (41.3)	29.9 (35.7)

※そう思う：「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」の計、そうは思わない：「そうは思わない」・「どちらかといえばそうは思わない」の計(以下同じ)

※ ( ) 内は昨年度数値

### (2) 今後の展開の方向等

主な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コンビナートの国際競争力の強化に向け、棧橋新設や航路浚渫等の施設整備を進めるとともに、企業間連携による<b>石炭共同輸送を11回</b>(H30年度/年間目標：10回)実施するなど、国際バルク戦略港湾施策を着実に推進。</li> <li>○ 迅速かつ円滑な物流を支えるため、幹線道路の整備を着実に推進。 国道・県道の整備完了延長：<b>11.4 km</b>(H30年度)⇒(目標：50.0 km(H30~R4年度))</li> <li>○ 周南地区における企業ニーズへの対応や渇水対策として、工業用水の新たな水源となる<b>島田川工業用水道</b>の建設を着実に推進。</li> <li>○ 山口県の特性を活かす戦略的な企業誘致に向け、東京・大阪企業誘致センターと一体となった積極的な企業訪問や優遇制度を活用した企業誘致を展開し、目標を上回る<b>企業誘致件数28件</b>(H30年)を達成。(年間目標：25件)</li> </ul>
展開の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内企業の競争力の強化を図るため、物流等基盤の強化に資する港湾・幹線道路網の整備、産業の血液である工業用水の安定供給体制の強化、企業間連携やオープンイノベーションの視点に立った企業活動の活性化の促進が必要である。</li> <li>○ 地域中核企業を含む「重点成長分野」の企業の誘致に向け、本県の優れた立地環境等を広く発信するとともに、受け皿となる事業用地を発掘するなど、戦略的な企業誘致を推進する必要がある。</li> </ul>

### (参考) 令和元年度の主な新規・拡充取組

#### 新 産業基盤の整備

企業ニーズに対応した航行安全対策基準策定のためのガイドラインの作成

迅速かつ円滑な物流を支える幹線道路網の整備を着実に実施(国道188号藤生長野バイパスの新規着手、環状一号線の新規着手等)

## 2 次代を切り拓く成長産業発展 プロジェクト

### 概要

産学公連携や大企業・中小企業連携、医療、環境・エネルギー関連企業の集積などを基に、新たな成長産業やビジネスを創出

### 重点策

- ③ 健康長寿社会の実現を先導する医療関連産業イノベーションの拡大
- ④ 次世代のエネルギーシステムを創る環境・エネルギー産業イノベーションの加速
- ⑤ 新たな可能性を拓くバイオ関連産業イノベーションの創出
- ⑥ 全国をリードする「水素先進県」の実現
- ⑦ やまぐち SPACE HILL 構想の実現、航空機・宇宙機器産業への挑戦
- ⑧ 第4次産業革命の進展を捉えたビジネスの創出や生産性の向上

### (1) 成果指標の状況・県民実感度調査の結果

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標			
	★★★★★ (目標を達成)					
★★★★ (計画を上回る)		2	医療、環境・エネルギー、水素、バイオ関連分野の事業化件数 等			
★★★ (ほぼ計画どおり)						
★★ (計画を下回る)		1	航空機・宇宙機器産業での受注獲得金額			
★ (計画から大幅に遅れ)		2	水素ステーションの設置数 等			
県民実感度調査 (%)	調査項目			そう思う	どちらでもない	そう思わない
	医療・環境関連産業や水素の利活用、バイオ関連産業など、今後、発展が期待できる産業の育成や集積が進んでいる			21.5 (16.7)	48.6 (46.6)	25.7 (32.5)
	衛星データ利用や、航空機・宇宙機器産業への参入、IoT・AIの活用など、新たな産業やビジネス創出の取組が進んでいる			14.8 (10.5)	45.9 (46.0)	34.6 (38.8)
	ベンチャー企業の成長や、地域経済をけん引する中核的な企業の成長を支援するための取組が進んでいる			13.7 (10.8)	51.7 (47.3)	29.1 (37.2)

※ ( ) 内は昨年度数値

### (2) 今後の展開の方向等

主な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療、環境・エネルギー、バイオ関連分野において、企業等の付加価値の高い研究開発や事業化に対してやまぐち産業イノベーション促進補助金により支援を行い、<b>事業化件数85件</b>(H30年度)を達成。</li> <li>○ IoTを活用した新サービス等を創出する企業に対して、専門家派遣や補助金による支援により、計画どおり<b>中小企業のIoT導入率を引き上げ</b>。 3.9%(H28年度)⇒<b>10.1%</b>(H30年度)</li> <li>○ 水素社会を見据え、県内企業の技術力を結集し、コンパクトかつ低コストで災害対応機能を併せ持つ革新的な再エネ利用小型水素ステーションを開発。(H30年度)</li> </ul>
展開の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業等における研究開発や事業化を進めるためには、事業化や裾野の拡大に向けた更なる取組の加速化を図ることが必要である。</li> <li>○ 依然として深刻化する企業の人手不足に対応するため、IoT等の活用による生産性向上に向けた取組の導入を一層浸透させる必要がある。</li> <li>○ 水素社会の実現に向け、課題である水素コスト低減等に向けた先進的な研究開発・事業化促進によるイノベーションを創出する必要がある。</li> </ul>

### (参考) 令和元年度の主な新規・拡充取組

#### 新 IoT等新技術導入による生産性向上の推進 ～官民連携で企業のIoT化をサポート～

「やまぐちIoT導入サポーター」の派遣やワークショップ実施による地域中核企業等への導入支援

### 3 中堅・中小企業の「底力」発揮 プロジェクト

概要

本県経済を支える中堅・中小企業が、更に成長し雇用を生む力を発揮できるよう、新たな試みへの挑戦や経営革新への取組、本県の強みであるものづくり技術の革新、創業や事業承継などに対する支援を強化

重点策

- 9 経済成長をけん引する地域中核企業の創出・成長支援
- 10 地域の経済を支える中堅・中小企業の成長支援
- 11 商業・サービス産業の誘致・成長支援
- 12 「創業応援県やまぐち」の深化
- 13 持続可能な建設産業の構築
- 14 成長を支える産業人材の確保・育成

#### (1) 成果指標の状況・県民実感度調査の結果

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標		
	★★★★★ (目標を達成)				
★★★★ (計画を上回る)		2	地域経済牽引事業による付加価値増加額 等		
★★★ (ほぼ計画どおり)		7	経営革新計画目標達成件数 等		
★★ (計画を下回る)					
★ (計画から大幅に遅れ)		2	インターンシップ参加学生数 等		

  

県民実感度調査 (%)	調査項目	そう思う	どちらでもない	そう思わない
	ベンチャー企業の成長や、地域経済をけん引する中核的な企業の成長を支援するための取組が進んでいる	13.7 (10.8)	51.7 (47.3)	29.1 (37.2)
	意欲的な中堅・中小企業の新商品・新サービスの開発や新たな事業展開などを支援するための取組が進んでいる	14.6 (11.6)	50.3 (49.0)	29.9 (34.5)
	商業・サービス業の振興に向けた取組が進んでいる	14.0 (12.6)	47.5 (45.2)	33.3 (37.7)
	意欲のある人材が「創業」(起業)しやすいように相談体制の整備や融資制度などの環境づくりが進んでいる	17.1 (12.7)	46.7 (47.2)	31.2 (35.9)
	本県の産業を担う人材の育成や確保に向けた取組が進んでいる	13.7 (11.1)	48.0 (50.3)	32.4 (34.2)

※ ( ) 内は昨年度数値

#### (2) 今後の展開の方向等

主な取組・成果

- 「地域中核企業」の創出・成長支援のため「**地域中核企業創出・支援カンファレンスチーム**」を設置し、県内の中核企業等の**ニーズ把握**や、**相談対応**、経営者の**意識啓発**セミナーを開催。
- 企業の生産性の向上を図りつつ高い専門性を持つ人材を育成する一体的な支援により、県内**中小企業の成長支援**を行うため、「**生産性向上・人材創造拠点**」を設置(H30.4) **経営革新計画目標達成件数**(H30年度)は**33件**を達成。(目標値：25件)
- 親族内承継、従業員承継を中心に、経営状況・経営課題の把握(見える化)や事業承継に向けた経営改善(磨き上げ)、事業承継計画策定を支援するため、**専門家派遣を実施**し、**事業承継計画策定支援実績が30件**となりH30年度の**目標を達成**。

<p>主 な 取 組 ・ 成 果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>商工会議所・商工会、市町、金融機関</b>等と連携し、創業準備段階からステップアップ、実践・フォローアップまで<b>段階に応じた支援</b>の実施により、<b>関係支援機関の支援による創業件数</b>(H30 年度) <b>239 件</b>(目標値：220 件)を達成。</li> <li>○ 経営知識の習得を目的とした実践的な<b>女性創業セミナーを開催</b>し、創業準備段階の女性を後押しする取組や女性創業応援ミーティングの開催などの<b>フォローアップの強化</b>により、<b>関係支援機関の支援による女性創業数</b>(H30 年度) <b>86 件</b>(目標値：68 件)を達成。</li> <li>○ 将来の<b>県内建設産業を担う若者・女性の確保・育成</b>のため産学公で組織する「建設産業担い手確保・育成協議会のもと<b>女子高生等と女性就業者との意見交換・工事現場見学会</b>を実施。(参加者：女子高生34人、女性就業者12人)</li> <li>○ <b>建設産業の活性化支援</b>のため、公共工事設計労務単価の改定による<b>適正な賃金水準の確保</b>や<b>週休2日モデル工事の実施</b>など、就労環境の改善を推進。</li> </ul>
<p>展 開 の 方 向</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域中核企業が成長する上での様々な課題・ニーズに対応するには、民間ノウハウや技術的知見も活用した官民一体となった経営・技術的課題等全般にわたる総合的支援の継続が必要。</li> <li>○ 人材不足の深刻化やあらゆる分野で技術革新が進み、中小企業を取り巻く環境は刻々と変化していることから、「生産性向上・人材創造拠点」の更なる強化が必要である。</li> <li>○ 事業者の実情に応じた円滑な事業承継を促進するため、親族内承継、従業員承継への支援や後継者不在企業と創業希望者等の幅広いマッチングに向けた取組を強化する必要がある。</li> <li>○ 創業希望者の多様な動機や目的、ニーズに的確に対応するため、商工会議所等によるきめ細かな支援やスタートアップ支援の取組の強化が必要である。</li> <li>○ 建設産業の将来を担う若者は依然不足しているため、今後も産学公で組織する「建設産業担い手確保・育成協議会を中心に人材確保・育成支援の取組を推進していくことが必要である。</li> <li>○ 建設産業の活性化のため、働き方改革の推進や、適正な競争環境の整備に取り組んでいくことが必要である。</li> </ul>

(参考) 令和元年度の主な新規・拡充取組

<p><b>新</b></p>	<p><b>中小企業スマートビジネス推進事業</b></p> <p>深刻な人手不足に対応するため、IoT等を活用し、ビジネスの効率化・省力化を目指す企業の取組を支援</p>
<p><b>新</b></p>	<p><b>県内創業・事業承継促進事業</b></p> <p>創業と事業承継の一体的支援体制の整備や第三者承継の支援により、多様な創業や事業承継を促進</p>

## 4 強い農林水産業育成 プロジェクト

### 概要

担い手の減少・高齢化が進む中でも、いち早く課題に取り組み対応してきた本県の強みを活かし、中核経営体を中心とした強い農林水産業の育成に取り組む

### 重点策

- 15 「担い手支援日本一」の更なる強化
- 16 農林水産業の成長産業化に向けた生産力の増強
- 17 先端・先進技術の研究開発・実用化の推進
- 18 「農林業の『知』と『技』の拠点」の形成
- 19 生産や地域を支える基盤整備

### (1) 成果指標の状況・県民実感度調査の結果

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標			
	★★★★★(目標を達成)		★★★★(計画を上回る)	★★★(ほぼ計画どおり)	★★(計画を下回る)	
成果指標	★★★★★(目標を達成)					
	★★★★(計画を上回る)	3	経営体において経営参画した女性数、県産木材供給量 等			
	★★★(ほぼ計画どおり)	3	中核経営体数、農林漁業新規就業者数 等			
	★★(計画を下回る)					
県民実感度調査 (%)	★(計画から大幅に遅れ)	3	酒米生産量、基幹漁業の新興件数、鳥獣による農林業被害額			
	調査項目			そう思う	どちらでもない	そう思わない
	地産・地消や6次産業化、担い手の確保、先端技術の活用等による経営基盤の強化・生産拡大など活力ある農林水産業を振興するための取組が進んでいる			18.4 (14.0)	45.1 (46.6)	32.0 (34.9)

※ ( ) 内は昨年度数値

### (2) 今後の展開の方向等

主な取組成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国トップ水準の給付金、技術習得から生活全般へのトータルサポートなど「日本一の担い手支援策」により、H30年度は<b>農林漁業新規就業者数226人</b>を確保。(年間目標:220人)</li> <li>○ 林業者の生産技術の向上や計画的な生産基盤の整備、木材需給情報の見える化などスマート林業の取組等により、<b>県産木材供給量</b>を着実に<b>増加</b>。(H29年度27.6万m<sup>3</sup>→H30年度28.9万m<sup>3</sup>)</li> </ul>
展開の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 担い手不足は依然として厳しい状況であるため、就業希望者への積極的なアプローチや支援策の充実など、更なる取組強化が必要である。</li> <li>○ 激化する産地間競争に打ち勝つため、ブランド力の向上や担い手確保対策と一体となった産地の規模拡大、経営基盤の強化が必要である。</li> <li>○ 生産性の飛躍的向上や少人数での大規模農地管理等を実現するため、先端技術を活用した研究開発や開発した技術の普及について、スピードアップを図る必要がある。</li> <li>○ 研究開発や普及のスピードアップ、先端技術を駆使できる担い手の早期育成を図るため、「農林業の知と技の拠点」の形成を着実に実施する必要がある。</li> </ul>

### (参考) 令和元年度の主な新規・拡充取組

#### 新 首都圏からの新たな農林漁業就業希望者の確保

首都圏からの新たな移住就業希望者を掘り起し、就業まで徹底したサポート体制の構築

#### 新 統一ブランドを核とした県産和牛の振興

格付等の基準を設けた県産和牛統一ブランドの取組推進と子牛の増頭対策等の実施

#### 新 本県独自の養殖業の振興

県産地酒の副産物である酒粕を活用したブランド魚種の開発研究  
ブランド化による販路拡大・漁業者の所得向上

#### 新 農林業の知と技の拠点整備

先端技術開発の活性化・迅速化と即戦力となる高度な技術を持つ人材の育成を一体的に行うための拠点の整備

## 5 交流を拡げる基盤整備 プロジェクト

### 概要

人やモノの流れの拡大を支えるため、2つの空港と5つの新幹線停車駅、高速道路・国道・県道等による充実した道路網や海外との自治体交流など、本県が有する優れた交流基盤の充実

### 重点策

- 20 県内2空港の交流拠点化の促進
- 21 広域的な交通インフラの整備
- 22 国際交流の推進

### (1) 成果指標の状況・県民実感度調査の結果

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標			
	★★★★★ (目標を達成)					
★★★★ (計画を上回る)		1	岩国錦帯橋空港の年間利用者数			
★★★ (ほぼ計画どおり)		2	山口宇部空港の年間利用者数・国際便利用者数 等			
★★ (計画を下回る)						
★ (計画から大幅に遅れ)						
県民実感度調査 (%)	調査項目			そう思う	どちらともいえない	そう思わない
	空港の便数や新幹線の停車回数など交通拠点の利便性や、交通拠点と観光地などを結ぶ二次交通の充実、道路網整備など、交通ネットワークの整備が進んでいる			41.9 (39.3)	33.6 (29.2)	19.2 (28.3)
国際交流(海外自治体や外国人住民など)を深めるための取組が進んでいる			28.7 (21.4)	45.0 (47.3)	18.7 (27.7)	

※ ( ) 内は昨年度数値

### (2) 今後の展開の方向等

主な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内2空港の利用者数は<b>山口宇部空港が102.2万人、岩国錦帯橋空港が52.3万人</b>となり、H30年度は両空港とも<b>過去最多を記録</b>。</li> <li>○ 交流基盤の一層の充実を図るため、<b>山陰道</b>をはじめとした<b>幹線道路の整備</b>を推進。 国道・県道の整備完了延長：<b>11.4 km</b> [H30年度] ⇒ 目標：50.0 km [H30～R4年度]</li> <li>○ 山口ゆめ花博での文化交流や教育旅行・女性団体交流など、友好協定等に基づく<b>国際交流事業の実施</b>や、外国人住民等からの相談に多言語で対応する「<b>やまぐち外国人総合相談センター</b>」を設置(H31.4)。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 空港の更なる交流拠点化推進のため、関係団体と一体となった利用促進活動や利用環境の整備を進める必要がある。</li> <li>○ 観光旅行者の利便性、快適性、回遊性等を向上させるための観光ルートの形成や、観光地への交通アクセスを強化する必要がある。</li> <li>○ 国際交流の活発化に向けて、友好協定等に基づく取組、多文化共生による地域づくりを着実に進めていく必要がある。</li> </ul>

### (参考) 令和元年度の主な新規・拡充取組

#### 交流基盤の整備

交流を支える道路網等の整備を着実に実施(山陰道、小郡萩道路等)

#### 新 多文化共生推進事業

外国人住民と日本人住民が、互いの違いを認め合い、社会の構成員として共に生きていく「多文化共生」の地域づくりを推進

## 6 選ばれる観光目的地やまぐち実現 プロジェクト

### 概要

全国的に増加している観光客や訪日外国人旅行者を県内に呼び込むため、本県の持つ自然・景勝地・温泉などの資源や、「明治維新 150 年」による取組の成果を活かし、国内外から選ばれる魅力ある観光地域づくりを展開

### 重点策

- 23 「明治維新 150 年」を契機とする「やまぐち DMO」による観光力の強化
- 24 誘客拡大に向けた観光・交流施策の一体的推進
- 25 東京オリンピック・パラリンピック等を契機とするインバウンドの拡大

### (1) 成果指標の状況・県民実感度調査の結果

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標			
	★★★★★ (目標を達成)					
★★★★ (計画を上回る)		2	観光客数、サイクルイベント参加者数			
★★★ (ほぼ計画どおり)		2	県立美術館の入館者数、クルーズ船寄港回数			
★★ (計画を下回る)		1	外国人延べ宿泊者数			
★ (計画から大幅に遅れ)		1	延べ宿泊者数			
県民実感度調査 (%)	調査項目			そう思う	どちらかいない	そう思わない
	観光資源やおもてなしの充実や、スポーツ・文化資源の活用など、観光客や来県者を増加させる取組が進んでいる			37.6 (33.1)	38.3 (39.3)	18.6 (24.3)
	海外からの観光客を増加させるための取組が進んでいる			32.8 (22.9)	37.3 (41.2)	23.9 (32.3)

※ ( ) 内は昨年度数値

### (2) 今後の展開の方向等

主な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観光キャンペーン「やまぐち幕末 ISHIN 祭」の展開や「山口ゆめ花博」の開催等により、平成 30 年の観光客数は過去最多の 3,414 万人を達成。(H29 年：3,318 万人)</li> <li>○ 総合サイクルイベントや交流イベントの開催、「やまぐち文化プログラム」の展開等、スポーツや文化振興施策と観光交流施策を一体的に推進。</li> <li>○ 訪日外国人旅行者の更なる誘客を図るため、重点 5 市場（韓国、台湾、香港、タイ、中国）を対象として、現地旅行会社等を招聘した県内観光地視察ツアーや、個人旅行者向けのテーマ型旅行のプロモーションを実施。</li> </ul>
展開の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 更なる誘客拡大や観光需要の拡大を図るため、やまぐち DMO のマーケティング力を活用しながら、市町や民間企業、関係団体等と連携して戦略的なプロモーションを展開する必要がある。</li> <li>○ 観光産業の稼ぐ力の強化を図るため、各地域の特色ある素材を活用した付加価値の高い観光コンテンツ造成等の更なる取組が必要である。</li> <li>○ 個人旅行の増加により多様化する旅行者ニーズへの対応や、本県が観光目的となるように県内を安心して快適に周遊できる受入環境の充実が必要である。</li> </ul>

### (参考) 令和元年度の主な新規・拡充取組

#### 新 YAMAGUCHI MAGIC! プロモーション推進事業

新キャッチフレーズ「YAMAGUCHI MAGIC!」のもと、「やまぐち幕末 ISHIN 祭」で磨き上げた観光素材や多様な主体との連携体制を活用し、新たな観光プロモーションを展開

#### 新 欧米等インバウンド市場開拓事業

ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック等を契機に、更なる拡大が見込まれるインバウンド需要を確実に取り込むため、欧米等市場へのプロモーションを強化

## 7 国内外での新たな市場開拓 プロジェクト

### 概要

県内経済を活性化するため、大きな需要のある大都市圏や海外において、県産品や農林水産物、県内企業の技術などを売り込み、新たな市場を開拓

### 重点策

- 26 大都市圏へのやまぐちの売り込み強化
- 27 成長する海外市場への中小企業・農林水産物等の展開

### (1) 成果指標の状況・県民実感度調査の結果

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標			
	★★★★★ (目標を達成)					
★★★★ (計画を上回る)		2	地域商社取扱商品の販売店数、農林水産物等の輸出商品数			
★★★ (ほぼ計画どおり)		2	ぶちうま産直市場の発注件数、中小企業の海外展開成約件数 等			
★★ (計画を下回る)						
★ (計画から大幅に遅れ)						
県民実感度調査 (%)	調査項目			そう思う	どちらでもない	そう思わない
	首都圏や関西圏などに、山口県の魅力や県産品等を売り込むための取組が進んでいる			30.9 (26.8)	40.9 (41.1)	22.7 (28.4)
	中小企業の海外展開や農林水産物・加工品の海外輸出を促進するための取組が進んでいる			22.0 (17.4)	48.9 (49.8)	23.1 (29.1)

※ ( ) 内は昨年度数値

### (2) 今後の展開の方向等

主な取組・成果	○ 県産品の売り込みの強化を図るため、地域商社と連携し、商品開発への支援や取扱商品のプロモーション等を実施し、 <b>地域商社取扱商品の販売店数60店</b> (H30年度) を達成。(年間目標20店)
	○ 中小企業の海外展開を促進するため、海外展開支援機能の整備や海外展開情報の提供等を行い、中小企業の <b>海外展開成約件数5件</b> (H30年) を達成。 目標値：25件(R4年度時点)
	○ 水産インフラの輸出を図るため、県内企業3社と連携し、漁獲・水揚げの鮮度保持システムのベトナム国での事業展開に向けて <b>国際協力機構(JICA)事業に提案・採択</b> 。(H31.1)
展開の方向	○ 県産品のブランド価値と存在感が高まるよう、県、市町、地域商社等が一体となった「オールやまぐち」による取組を進める必要がある。
	○ 輸出に先駆的な事業者との連携等により、物流コストの削減や海外展開リスクの低減に向けた取組を進める必要がある。
	○ JICA事業を活用したベトナム国での実証事業を着実に実施するとともに、次のステップ(加工・流通)の展開に向けた取組を進める必要がある。

### (参考) 令和元年度の主な新規・拡充取組

#### 新 大都市圏での県産品の売り込み強化

市町等と一体となった「オールやまぐち」による大都市圏への県産品売り込みの戦略的な展開

#### 新 山口県版エクスポーター育成による海外競争力強化～県産品満載！山口から世界へ！～

輸出のノウハウや現地でのネットワークを有する県内事業者を「山口県版エクスポーター」として育成

## 8 やまぐちへの人の還流・移住・定住促進 プロジェクト

### 概要

東京一極集中の是正や地方の良さが注目される中、本県の人口流出の流れを食い止めるため、本県の魅力や存在感を高め、県内への人の還流や移住・定住を促進

### 重点策

- 28 「住んでみいね！ぶちええ山口」YY！ターンの推進
- 29 県外人材の県内への就職の促進
- 30 政府機関等の県内への移転の促進

### (1) 成果指標の状況・県民実感度調査の結果

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標			
	★★★★★ (目標を達成)					
★★★★ (計画を上回る)						
★★★ (ほぼ計画どおり)		4	転入者アンケートによる「YY！ターン」実績数(移住者数)等			
★★ (計画を下回る)						
★ (計画から大幅に遅れ)						
県民実感度調査 (%)	調査項目			そう思う	どちらでもない	そう思わない
	県外からの移住・定住者を増やすための取組(UJIターンなど)が進んでいる			21.5 (15.5)	43.9 (45.3)	29.4 (35.6)

※ ( ) 内は昨年度数値

### (2) 今後の展開の方向等

主な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 移住フェアへの出展や、やまぐちYY！ターンカレッジ、やまぐちYY！ターン公開講座の開催、やまぐち暮らし支援センター(東京・大阪・山口)での相談対応など、<b>首都圏等での取組強化</b>等により、<b>移住者数 2,097 人</b> (H30 年度)を達成。(目標: 10,000 人(H30~R4 年度))</li> <li>○ 県内外での就職説明会の開催や就職支援協定校との連携強化など、県外人材のUJIターン就職に向けた支援の実施により、H30 年度は<b>県外人材の県内就職者数 210 人</b>を<b>確保</b>。(目標: 1,475 人(H30~R4 年度))</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本県への移住に関心を持つ層を確実に移住につなげていくため、移住の実現に向けた情報発信や相談・受入支援体制を強化するとともに、市町や関係機関等と一層の連携を図り、YY！ターンによる移住・定住の促進に取り組む必要がある。</li> <li>○ 政府関係機関等の移転が実現した機関については、移転効果の発現に向け、引き続き積極的な取組に努めるとともに、東京一極集中の是正に向けて、政府関係機関等の移転を一過性のものとすることなく、更なる移転を促進する必要がある。</li> <li>○ 本県の優れた立地環境等を活かし、大学のサテライトキャンパス等の県内設置や県外企業の本社機能の移転に向けて、大学等のニーズの把握や課題の整理に努め、誘致活動を進めていく必要がある。</li> </ul>

### (参考) 令和元年度の主な新規・拡充取組

- 新** 県外に在住する学生・一般求職者の県内就職実現に向けた総合的支援  
県外の就職支援協定締結大学との連携強化や企業との出会いの場の創出等、総合支援の実施
- 新** 多様な創業や円滑な事業承継の促進  
創業・事業承継総合サポートセンターの設置による支援体制の整備、マッチングの促進等
- 拡** 「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議の体制強化  
YY！ターンコンシェルジュ(3名)の県内配置による、相談から定住・定着までの一貫した支援の実施

## 9 結婚、妊娠・出産、子育て応援プロジェクト

### 概要

若い世代が結婚の希望を叶え、安心して子どもを産み育てることができるよう、社会全体で子どもと子育て世帯を支える県づくりを推進

### 重点策

- 31 結婚から妊娠・出産に至るまでの希望を叶える取組の充実
- 32 「みんなで子育て応援山口県」の推進
- 33 困難を有する子どもへの支援の充実

### (1) 成果指標の状況・県民実感度調査の結果

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標			
	★★★★★ (目標を達成)					
★★★★ (計画を上回る)		3	学校内子育てひろばの設置校数、保育所等利用待機児童数 等			
★★★ (ほぼ計画どおり)		3	やまぐち結婚応援センターの引き合わせ実施件数 等			
★★ (計画を下回る)		1	小児救急医療電話相談の件数			
★ (計画から大幅に遅れ)						
県民実感度調査 (%)	調査項目			そう思う	どちらでもない	そう思わない
	結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶えるための支援が進んでいる			25.3 (19.6)	42.1 (46.8)	27.7 (30.4)
	安心して子どもを産み育てるための周産期・小児医療体制の整備などが進んでいる			25.0 (19.4)	40.4 (45.6)	29.7 (31.4)
	児童虐待の防止や子どもの貧困対策など、困難を有する子どもへの支援が進んでいる			17.7 (11.5)	49.4 (55.9)	27.8 (28.9)

※ ( ) 内は昨年度数値

### (2) 今後の展開の方向等

主な取組・成果	○ 若い世代が家庭や子どもを持つことの楽しさ・素晴らしさを身近に感じる機会となる、 <b>学校内子育てひろば</b> を <b>19校に設置</b> し、中高生を対象とした乳幼児親子とのふれあい体験を実施。
	○ ひとり親家庭等の子どもへの生活・学習支援や食事提供を行う、 <b>子どもの居場所づくり</b> を実施する市町を <b>3市町へ拡大</b> し、必要な支援を実施。 1市町(H29年度)⇒ <b>3市町</b> (H30年度)
展開の方向	○ 結婚から妊娠・出産、子育ての希望を叶えるための切れ目のない支援をより一層強化するとともに、安心して子どもを産み育てるための周産期・小児医療体制のさらなる整備を推進することが必要である。
	○ 児童虐待防止対策に向け、児童相談所の体制強化や関係機関との連携強化を図るとともに、社会的養護の充実や貧困の連鎖を防止するための取組を通じ、困難を有する子どもへの支援の充実を図る必要がある。

### (参考) 令和元年度の主な新規・拡充取組

<b>拡</b>	<b>ぶち幸せおいでませ！結婚応援事業</b> 「やまぐち結婚応援センター」を核とした出会いから成婚までの一貫した支援の強化
<b>拡</b>	<b>周産期医療体制総合対策事業</b> 妊産婦・新生児の状態に応じた適切な医療の提供に向けた、周産期医療体制の整備
<b>新</b>	<b>子ども食堂サポート事業</b> 地域の全ての子どもたちの居場所となる「子ども食堂」の開設促進に向けた支援体制の整備